



国際シンポジウム

エネルギー安全保障と日本ウズベキスタン関係
—環境共生型のエネルギー開発とパートナーシップ—

The Challenges to Global Energy Security and Ways of Their Neutralization in the Present-day Conditions

日時:2009年8月31日(月曜日)10時~17時30分

会場:慶應義塾大学 G-SEC Lab.(慶應義塾大学三田キャンパス東館 6・7階)

主催:慶應義塾大学世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業
ウズベキスタン政策研究センター(CPS)

共催:在日ウズベキスタン共和国大使館
ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金駐日代表部

後援:経済産業省、(社)ロシア NIS 貿易会

特別後援:日経新聞社、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)

助成:独立行政法人国際交流基金

言語:日本語=ロシア語通訳

事務局:稲垣文昭(慶應義塾大学政策・メディア研究科特別研究講師)
バヒリディノフ・マンスール(在日本ウズベキスタン大使館)

申込先:慶應義塾大学世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業事務局
(担当:稲垣)

電話&FAX:0466-49-3491 E-mail: fumi17@sfc.keio.ac.jp

携帯:090-1857-7488

申込〆切:8月28日(金)13:00

* 申込については5ページの申し込み用紙をお使い下さい。



趣旨

本シンポジウムは、2007年10月より文部科学省の委託研究事業として開始された慶應義塾大学世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業「中央アジアにおける環境共生と日本の役割—価値創造に基づく地域研究のあり方—(研究代表:奥田敦・総合政策学部教授)」とウズベキスタン政策研究センターが共同で主催するエネルギー安全保障と環境共生についての国際シンポジウムである。

本シンポジウムは、政治経済的な発展を阻害しうる、経済的、政治的、地政学的な脅威を明らかにするための学術的な取り組みを支援すること。そして、エネルギー問題に関する日本とウズベキスタン両国間における学術関係者および実務家間の長期的・継続的な対話の第一歩となることを目的としている。なお、本シンポジウムは、国際交流基金の助成受け同基金の日本研究・知的交流事業の一貫として、日本とウズベキスタンの知的交流を推進するものでもある。

慶應義塾大学世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業について

同事業は、2006年度より開始された文部科学省「世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/19/05/07050801.htm)」において2007年9月に2007年度事業として採択された、「中央アジアにおける水資源を中心とした環境問題」についての委託研究である。

* 同事業の詳細については、<http://web.sfc.keio.ac.jp/~kgw/watergovernance/index.html>を参照。

*

政策研究センター(Center for Political Studies)について

政策研究センターは、社会科学、政治学発展のためにウズベキスタン外務省、ウズベキスタン対外経済関係・投資・貿易省、ウズベキスタン大統領付属国家・社会形成アカデミー、ウズベキスタン大統領付属戦略・地域研究研究所、世界経済が移行大学などにより設立された独立系の非営利・非政府系組織である。グリナラ・カリモヴァ・ウズベキスタン国連代表が所長を務める。ウズベキスタンの国内外の課題や地域安全保障問題、国際協力、経済発展に関する研究を行っている。

プログラム

時間	内容
09:30-10:00	レジストレーション
10:00-10:30	<p>【オープニング】</p> <p>【司会】 国領 二郎 慶應義塾大学総合政策学部学部長</p> <p>【開会挨拶】 阿川 尚之 慶應義塾常任理事 塩川正十郎 東洋大学総長／元財務大臣／21世紀大学経営協会最高顧問 S. ルスタモフ 政策研究センター副所長 高橋 毅 国際交流基金</p>
10:30-12:00	<p>【セッション1】</p> <p>「21世紀における日本と中央アジアの戦略的パートナーシップ構築に向けて」</p> <p>【司会】 横手慎二 慶應義塾大学法学部教授 S.ルスタモフ ウズベキスタン政策研究センター副所長</p> <p>【報告】</p> <p>① T. サリホフ ウズベキスタン科学アカデミーエネルギー・自動化技術研究所所長 「グローバル・エネルギー安全保障理論について」</p> <p>② 孫崎 享 元駐ウズベキスタン日本国大使 「日本の対中央アジア外交とウズベキスタン」(仮)</p> <p>③ R. マフムドフ 政策研究センター分析局局長 「エネルギー安全保障に置ける地政学的要因」</p> <p>質疑応答</p>
12:00-13:00	昼食
13:00-15:00	<p>【セッション2】</p> <p>ユーラシア・エネルギー安全保障および環境への取り組み」</p> <p>【司会】 輪島実樹 (社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所調査役 M. バヒリディノフ 在日本ウズベキスタン大使館</p> <p>【報告】</p> <p>① 本村真澄 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構主席研究員(予定)「未定」</p> <p>② S. マジトフ ウズベクネフチェガス第一副総裁 「ウズベキスタンの石油・ガスの可能性と開発について」</p> <p>③ A. ホツジャエフ 政策研究センター専門官 「ウズベキスタンにおけるエネルギー安全保障システムの概念」</p> <p>④ N. ジュマエフ 世界経済・外交大学副学長 「世界金融危機とウズベキスタンのエネルギー開発」</p> <p>⑤ 稲垣 文昭 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別研究講師 「環境共生とエネルギー開発」</p> <p>質疑応答</p>



15:00-15:30	コーヒーブレイク
15:30-17:20	<p>【セッション3:パネルディスカッション】 「日本と中央アジア・パートナーシップの将来と課題」</p> <p>【司会】 石郷岡建 日本大学総合科学研究所教授(予定)</p> <p>【パネラー】</p> <p>日本側: 袴田茂樹 青山学院大学国際政治経済学部教授 宇山智彦 北海道大学スラブ研究センター教授 小山 修 三井物産戦略研究所所長 孫崎 享 元駐ウズベキスタン日本大使</p> <p>ウズベク側:ルスタモフ 政策研究センター所長 ファイズラエフ 世界経済・外交大学教授 サリホフ エネルギー・機械産業研究所所長</p> <p>質疑応答</p>
17:20-17:30	<p>【クロージング】</p> <p>ウズベク側閉会挨拶 ファイズラエフ 世界経済・外交大学教授</p> <p>日本側閉会挨拶 清家 篤 慶應義塾塾長</p>

問い合わせ先

在日ウズベキスタン共和国大使館／

ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金駐日代表部

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 5-11-8

担当: M.バハリディノフ／池田

電話: 03-3760-5625、FAX: 03-3760-5950

Email: m.bakhriddinov@uzf.or.jp

慶應義塾大学世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業事務局

〒252-8520

神奈川県藤沢市遠藤 5322 慶應義塾大学 ε 505(香川敏幸研究室気付)

担当: 稲垣

電話&FAX: 0466-49-3491、携帯: 090-1857-7488

Email: fumi17@sfc.keio.ac.jp

ホームページ: <http://web.sfc.keio.ac.jp/~kgw/watergovernance/index.html>

慶應義塾大学世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業事務局 宛て（担当：稲垣）

FAX:0466-49-3491 / Email:fumi17@sfc.keio.ac.jp

**エネルギー安全保障と日本ウズベキスタン関係
-環境共生型のエネルギー開発とパートナーシップ-**
2009年8月31日(月) 10:00~17:30
参加申込書

締切日:8月28日(金)13:00

会社・団体名			
部署・役職			
氏名			
住所			
TEL		FAX	
E-mail			

【会場】

慶應義塾大学 G-SEC Lab.(慶應義塾大学三田キャンパス東館6・7階)
東京都港区三田2-15-45



【交通のご案内】

- ・JR山手線、京浜東北線:田町駅 徒歩8分
- ・都営地下鉄浅草線、都営地下鉄三田線:三田駅 徒歩7分
- ・都営地下鉄大江戸線:赤羽根橋駅 徒歩8分